

★川ごみ調査シート(記入済)

よみがえれ、大栗川を楽しむ会

分類項目		数量	備考
■ 容器・包装ごみ			
飲料	○飲料缶(アルミ、スチール)	20	
	○ビン		
	○ペットボトル	13	
	○ペットボトルのキャップのみ		
袋	○レジ袋	15	
	○プラ袋(レジ袋以外、菓子袋も含め)すべて	140	&[かけら・破片]多数
その他	○飲食系プラ容器(弁当・トレイ・飲料カップなど)すべて	30	&「プラスプーン」2
	○紙パック・トロ箱、その他の容器包装	5	「紙パック」4、「おもちゃの箱」1
	○混在ごみ(複数の容器・包装類をレジ袋等に詰め込んだ不法投棄ごみ)		
■ 産業系ごみ			
○土のう袋・フレコンバッグ		9	「土のう袋(破片含む)」
○ブルーシート・農業用マルチシート			
○鉄パイプ、産業系金属類		30	「鉄パイプ」、「鉄筋」、「L鋼」、「打ち込み杭」、「電線」、「ワイヤー」、「業務用ガスボンベ?」など
○その他			
■ 製品ごみ			
○タバコの吸い殻		21	&「箱」2、「ライター」1
○おもちゃ・靴・CD/DVD・ボールなど		2	「ゴルフボール」1、「テニスボール」1
○衣類・オムツ・マスク・手袋など		12	「マスク」9、「手袋・軍手」2、「スカーフ」1
○ビニール傘(普通の傘、傘部品含む)			
○金属製品		4	「バンパー」1、「バックミラー」1、「ホイールカバー」1、「自転車サドル」1
○その他		5	「保冷マット」1、「石膏ボード」1、「ホッカイロ」1、「木槌」1、「マイナンバーカード」1 &「雑多なごみ多数」
■ 粗大ごみ(不法投棄)			
○自転車・バイク・家具・その他			

◆調査年月日:2022年7月3日(日)

◆調査エリア:東寺方橋～霞ヶ関橋(全長:約500m)

◆参加人数:21名(うち子ども7名)

◆可燃系:8袋(20ℓ袋)+1袋(45ℓ袋) / 不燃系:1袋(20ℓ袋)+2袋(45ℓ袋)

◆特記事項:

6月に猛暑日が何日も続くという異例の事態に、7月の清掃デーは「**厳重警戒**」が必要との初の判断で、これまでにない準備を行いました。

まず、日除けができる場所の確保ということで、テントを準備。WBGTという熱中症の警戒モードをチェックできるチェッカーを用意して、数値からも状況を把握。

そして、クーラーボックスに氷や氷水、冷えたお茶やスポーツドリンク、経口補水液OS-1などを用意して、水分補給の状況を万全にし、脇や首などを冷やせるようアイスノンや凍ったペットボトルも準備しておきました。

当日持参の飲み物が空になる程飲み、テントの飲み物を飲んだ方も多く、また実際暑さでテントで休んだメンバーもあったため、準備が役に立ちました。

一旦川に降りてしまうと、なかなかテントまで戻って来られないため、塩飴を配るなどして塩分補給にも気を遣いました。

ご近所の方が、冷えた飲み物を大量に差し入れてくださり、これも大変助かりました。

また、前回の「海ごみゼロウィーク」の大掛かりな清掃デーに初参加した2名の方が、今回も参加をしてくださり、広報・宣伝が活動の広がりにつながっていることを感じ、嬉しく思いました。